

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京・大阪の各証券取引所

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



KOBELCO
神戸製鋼グループ

つくる、むすぶ、ひらく。

第95期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

 **神鋼商事** 株式会社

〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号

電話 (0120)580-217

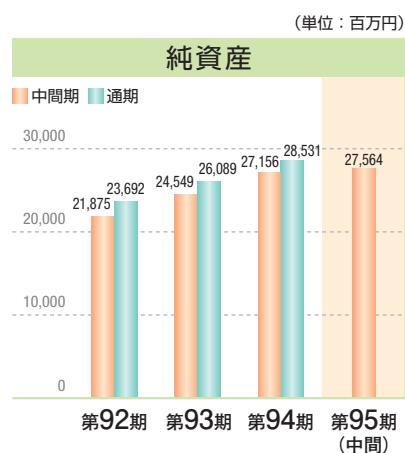
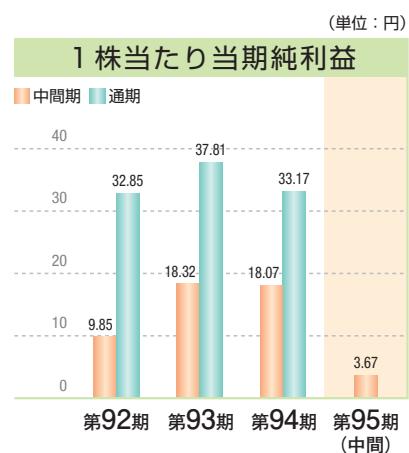
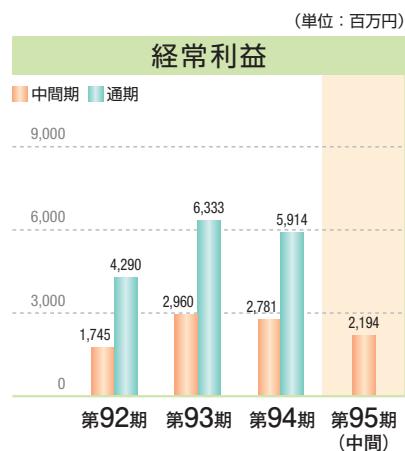
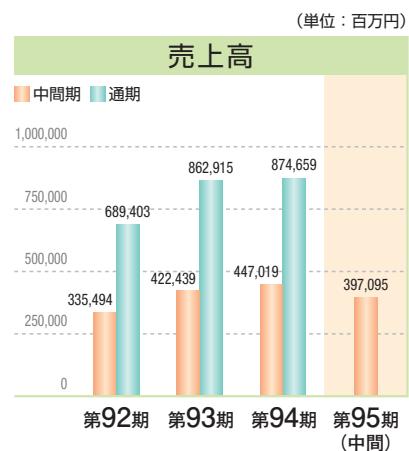
<http://www.shinsho.co.jp>



 **神鋼商事** 株式会社

証券コード：8075

財務ハイライト（連結）



CONTENTS

財務ハイライト(連結).....	1	業績予想／配当状況／株式の状況.....	6
株主の皆さまへ.....	2	神鋼商事グループ 海外ネットワーク.....	7・8
連結部門別概況.....	3・4	トピックス.....	9
連結決算.....	5	役員／会社概要／事業所／海外拠点.....	10

株主の皆さまへ

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、第95期中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、国内については震災復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、長期化する円高や欧州の財政危機問題等に端を発した景気減速が先進国から新興国に波及してきたことなどから、予断を許さない状況が続いてまいりました。

このような環境の下、当社グループはインド・チェンナイ市近郊において、本年7月に鉄鋼厚板加工の工場建設に着手致しました。また、その設立支援と市場開拓を目的として神鋼商事インド会社チェンナイ事務所を開設するなど、アジア諸国を中心にグローバルビジネスを推進してまいりました。

しかしながら、業績につきましては主要需要家である自動車業界向けの取扱いは好調に推移したものの、海外景気の減速により鉄鋼、半導体、電機各業界の取扱いが減少したことから厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は3,970億95百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は24億77百万円（同23.5%減）、経常利益は21億94百万円（同21.1%減）となりました。なお、特別損失として国内子会社が保有する固定資産の減損損失など3億41百万円を計上したことに加え、過年度法人税等として6億7百万円を計上したことなどから、中間純利益は3億24百万円（同79.7%減）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき3円とし、お支払い日を12月5日とさせていただきます。なお、1株あたりの年間配当金は6円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



代表取締役社長
村瀬 敬一

平成24年12月

連結部門別概況

鉄鋼セグメント



薄板

線材製品はエコカー減税・補助金の効果により、自動車生産が好調に推移したことから取扱量が増加しました。鋼板製品は国内においては電機・建材向けの取扱量が減少し、輸出は新興国の景気減速により取扱量が減少しました。一方、チタン・ステンレス製品はエネルギー関連需要が堅調であったことから取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,277億88百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は13億22百万円（同4.1%減）となりました。



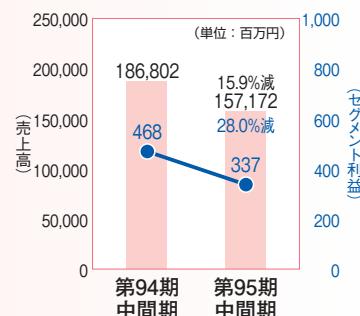
鉄鋼原料セグメント



高炉

輸入鉄鋼原料は価格下落に加え、取扱量が減少しました。冷鉄源は市況価格は下落しましたが取扱量は増加しました。一方、合金鉄およびチタン原料は価格が上昇したものの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,571億72百万円（前年同期比15.9%減）、セグメント利益は3億37百万円（同28.0%減）となりました。



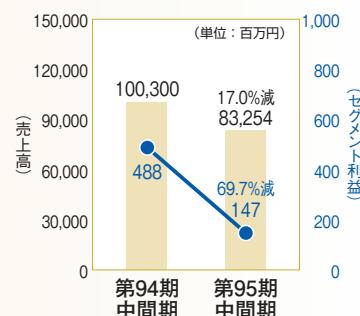
非鉄金属セグメント



空調用銅管

銅製品は自動車向け端子コネクター用銅板条の取扱量は増加しましたが、半導体向けリードフレームの取扱量が需要不振により減少しました。アルミ製品も自動車向けの取扱量は増加しましたが、印刷版、ハードディスク向けアルミ板条ならびにアルミ加工品の取扱量が減少しました。また、非鉄原料も銅・アルミ地金およびスクラップの取扱量がそれぞれ減少しました。

この結果、売上高は832億54百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント利益は1億47百万円（同69.7%減）となりました。



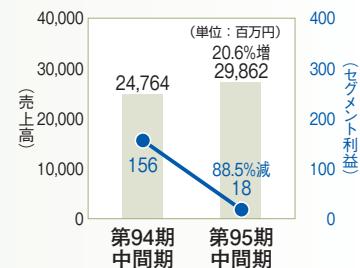
機械・情報セグメント



スクリュ型小型蒸気発電機「スチームスター」

機械製品は中国向けアルミ関連加工機械の輸出や電池用材料の取扱量は増加しましたが、大型案件の減少により取扱いがほぼ横ばいとなりました。また、情報関連商品もタッチパネル用電子材料の取扱量は増加しましたが、太陽電池関連機材の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は298億62百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益は18百万円（同88.5%減）となりました。



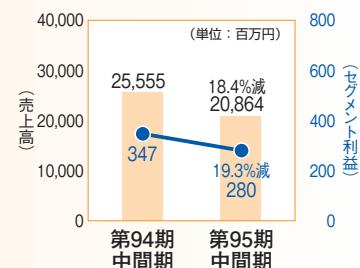
溶材セグメント



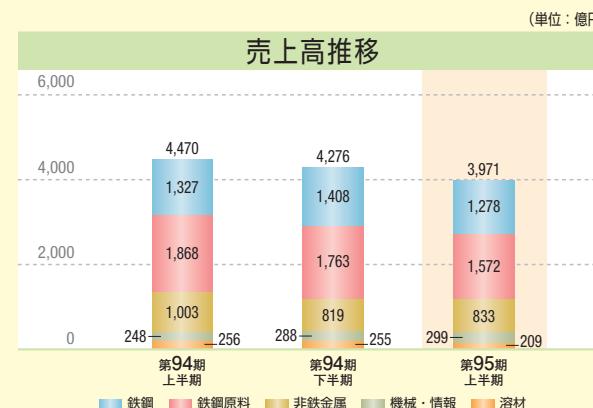
溶接ロボットシステム

溶接材料は自動車業界向けは好調でしたが、造船、化工機業界向けの取扱量が減少し、韓国、中国向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は建設機械メーカー向けの中国での取扱いは減少しましたが、国内は増加しました。また、生産材料の取扱量は減少しました。

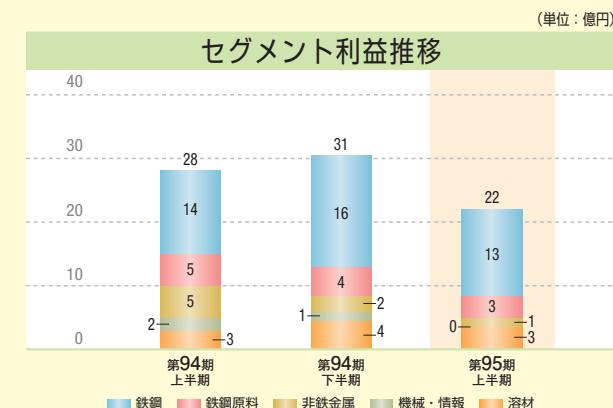
この結果、売上高は208億64百万円（前年同期比18.4%減）、セグメント利益は2億80百万円（同19.3%減）となりました。



売上高推移



セグメント利益推移



※調整額等の数値は表記しておりません。

連結決算

中間貸借対照表(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第94期 平成24年3月31日現在	第95期中間期 平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	203,642	187,232
現金及び預金	17,476	17,513
受取手形及び売掛金	148,751	133,663
たな卸資産	24,792	25,569
その他	12,622	10,484
固定資産	27,764	27,662
有形固定資産	4,258	4,320
無形固定資産	1,451	1,392
投資その他の資産	22,054	21,949
資産合計	231,406	214,894
負債の部		
流動負債	183,807	163,854
支払手形及び買掛金	130,659	119,797
その他	53,148	44,056
固定負債	19,066	23,475
負債合計	202,874	187,330
純資産の部		
株主資本	29,752	29,891
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	21,415	21,554
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	△3,124	△4,011
少数株主持分	1,904	1,685
純資産合計	28,531	27,564
負債及び純資産合計	231,406	214,894

中間損益計算書(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第94期中間期 平成23年4月1日～平成23年9月30日	第95期中間期 平成24年4月1日～平成24年9月30日
売上高	447,019	397,095
売上原価	436,345	386,129
売上総利益	10,674	10,965
販売費及び一般管理費	7,437	8,488
営業利益	3,237	2,477
営業外収益	808	866
営業外費用	1,264	1,150
経常利益	2,781	2,194
特別利益	2	5
特別損失	53	341
税金等調整前中間純利益	2,729	1,857
法人税、住民税及び事業税	919	934
過年度法人税等	－	607
法人税等調整額	148	△25
少数株主損益調整前中間純利益	1,661	340
少数株主利益	61	16
中間純利益	1,600	324

中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第94期中間期 平成23年4月1日～平成23年9月30日	第95期中間期 平成24年4月1日～平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,786	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222	△1,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,873	△435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	71
現金及び現金同等物の増減額	1,666	87
現金及び現金同等物の期首残高	12,989	17,460
連結除外による現金及び現金同等物の減少額	－	△36
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,656	17,512

平成25年3月期の連結業績予想

平成24年4月1日～平成25年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	874,659百万円	803,000百万円	△8.2%
営業利益	6,558百万円	6,300百万円	△3.9%
経常利益	5,914百万円	5,600百万円	△5.3%
当期純利益	2,937百万円	2,300百万円	△21.7%
1株当たり当期純利益	33円 17銭	25円 97銭	△21.7%

上記の今期予想は平成24年10月31日発表の予想数値です。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

配当状況

	1株当たり配当金 (円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産 配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
平成25年3月期	3.00	3.00 (予想)	6.00 (予想)	－	－	－
平成24年3月期	3.00	3.00	6.00	531	18.1	2.1
平成23年3月期	2.50	2.50	5.00	442	13.2	1.9
平成22年3月期	－	4.00	4.00	354	12.2	1.7

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

●株式の概況

発行可能株式総数 270,000,000株

発行済株式総数 88,571,576株
(自己株式 34,049株を除く)

株主数 5,191名

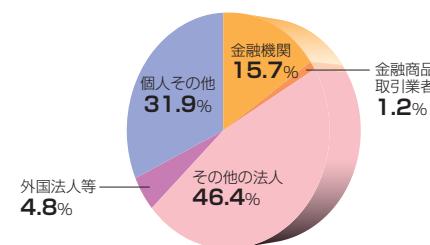
●大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(退職給付信託神戸製鋼所口)	19,062	21.52	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,403	1.58
(株)神戸製鋼所	11,791	13.31	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,314	1.48
神商取引先持株会	5,883	6.64	神鋼商事従業員持株会	1,191	1.35
(株)三井住友銀行	2,068	2.34	(株)三菱東京UFJ銀行	1,092	1.23
シンフォニアテクノロジー(株)	1,500	1.69	日本生命保険相互会社	1,067	1.20

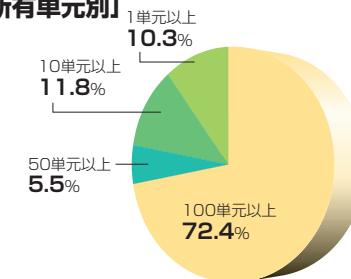
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況

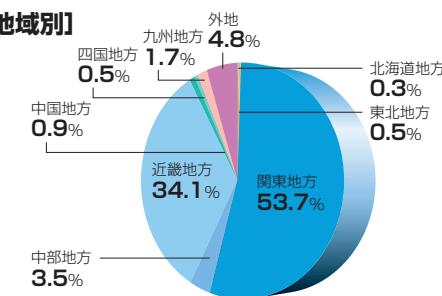
【所有者別】



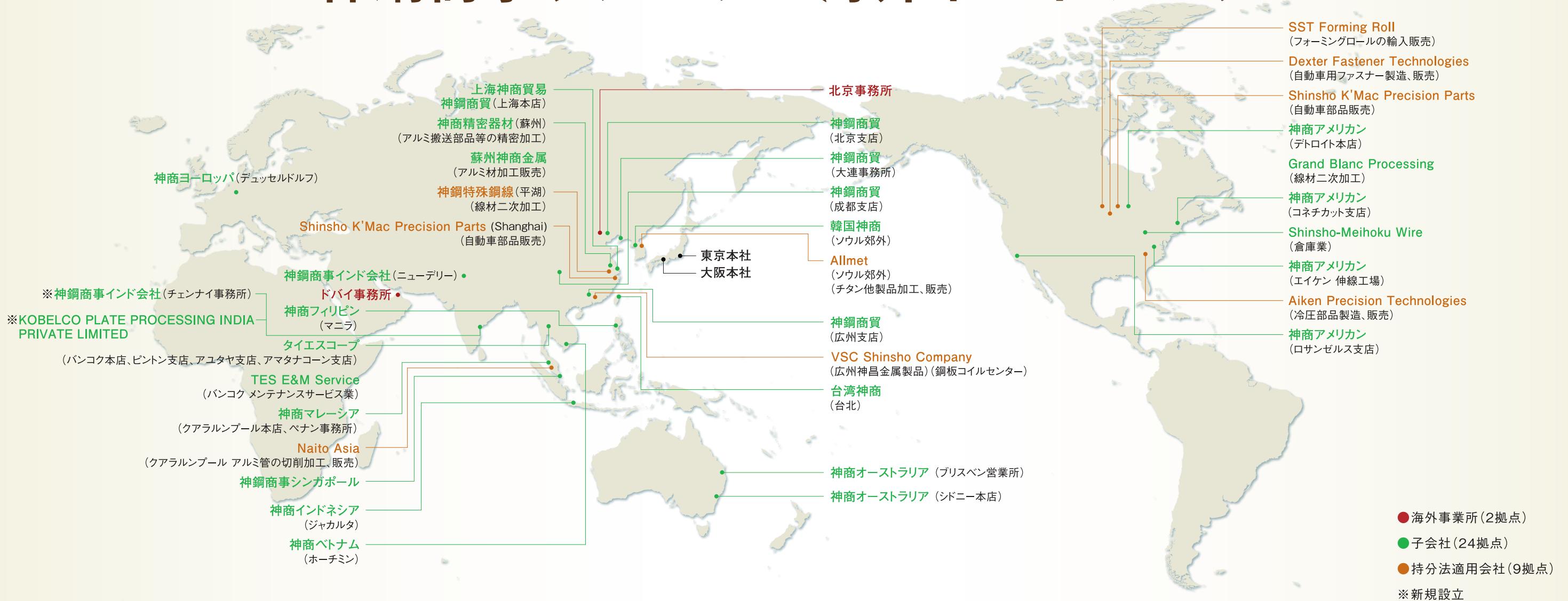
【所有単元別】



【地域別】



神鋼商事グループ 海外ネットワーク



トピックス

TOPICS

01 インド現地法人が事務所開設

神鋼商事インド会社（KTI）は8月インド南東部のタミールナドゥ州にチェンナイ事務所を開設しました。当地では、主に建設機械業界向けの厚板加工会社KOBELCO PLATE PROCESSING INDIA PVT. LTD.（KPP）が2013年4月の稼働を目指しています。当事務所はその支援とコベルコ製品の市場開拓を目的に設立いたしました。

KTI はニューデリーに本社を置いており、チェンナイ事務所は2番目の活動拠点となります。



▲ チェンナイ事務所スタッフ

オフィスビル ▶

TOPICS

02 国内初の小型温泉発電システムを受注

神鋼商事は、神戸製鋼所製の高効率・小型バイナリー発電システム「マイクロバイナリー」を国内初の温泉発電として、成約しました。これを皮切りに、神鋼グループとして九州の温泉地区で4台が決定しています。年度内に機器の納入・設置を完了し、稼働を開始いたします。

マイクロバイナリーは、70℃～95℃の温水を使用する出力100kW以下クラスの小型バイナリー発電システムとしては、国内初となる画期的なシステム（パッケージ型 小型普及タイプ）で、2011年10月の発売開始以来、多数の問合せ・引合いを頂いております。

具体的には、温泉旅館のほか、自治体等から防災拠点の発電システムとしての適用が期待されています。

当社はマイクロバイナリーのほか、蒸気や熱を有効利用できるエネルギーソリューションメニューを通じて、創エネや省エネの実現に貢献していきます。



▲ マイクロバイナリー設備本体

建設予定地（別府地区）▶

役員（平成24年9月30日現在）

【取締役および監査役】

代表取締役社長	村 瀬 敬 一
代表取締役	笹 川 浩 史
代表取締役	松 本 博 明
取締役	佐 藤 育 夫
取締役	小 林 清 文
取締役	岡 本 利 一
取締役	渡 辺 寛 彰
監査役（常勤）	永 野 洋 邦
監査役（常勤）	内 藤 三 郎
監査役	毛 利 修 三
監査役	吉 田 達 樹

【執行役員】

※ 社 長	村 瀬 敬 一
※ 専務執行役員	笹 川 浩 史
※ 専務執行役員	松 本 博 明
専務執行役員	津 村 拓 良
※ 専務執行役員	佐 藤 育 夫
※ 常務執行役員	小 林 清 文
常務執行役員	大 西 健 司
常務執行役員	森 田 哲 也
常務執行役員	松 尾 久 幸
※ 常務執行役員	岡 本 利 一
常務執行役員	大 田 修 徳
常務執行役員	加 藤 宏 生
執行役員	廣 野 安 雄
執行役員	中 井 通 雄
執行役員	松 原 美 弘
※ 執行役員	渡 辺 寛 彰
執行役員	山 東 孝 一
執行役員	大 城 誠 市

（注）上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

会社概要

設 立 昭和21年11月12日
 発行済株式総数 88,605,625株
 資 本 金 5,650,281,250円
 主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業関連商品、溶材

事業所

大 阪 本 社 大阪市中央区北浜2丁目6番18号
 東 京 本 社 東京都中央区日本橋1丁目2番5号
 名 古 屋 支 社 名古屋市中村区名駅2丁目45番7号
 神 戸 支 社 神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号
 九 州 支 社 福岡市博多区博多駅中央街1番1号
 支 店 中国（広島）、静岡、北陸（富山）、東北（仙台）、札幌
 出 張 所 熊本、長府、徳山、加古川、岐阜、群馬

海外拠点

- 海外事業所 中国、アラブ首長国連邦（2拠点）
- 子会社 米国、ドイツ、オーストラリア、中国、タイ、シンガポール、ベトナム、インド、韓国、フィリピン、マレーシア、インドネシア、台湾（24拠点）
- 持分法適用会社 米国、中国、韓国、マレーシア（9拠点）